

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 19 年 5 月 17 日 (2007.5.17)

【公表番号】 特表 2006-522061(P2006-522061A)
 【公表日】 平成 18 年 9 月 28 日 (2006.9.28)
 【年通号数】 公開・登録公報 2006-038
 【出願番号】 特願 2006-504968(P2006-504968)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 31/167 (2006.01)
A 6 1 K 31/08 (2006.01)
A 6 1 K 31/436 (2006.01)
A 6 1 P 23/02 (2006.01)
A 6 1 P 37/06 (2006.01)
A 6 1 P 37/08 (2006.01)
A 6 1 P 17/00 (2006.01)
A 6 1 P 17/08 (2006.01)
A 6 1 P 17/06 (2006.01)
A 6 1 P 17/10 (2006.01)
A 6 1 P 17/04 (2006.01)
A 6 1 P 17/02 (2006.01)
A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/167
 A 6 1 K 31/08
 A 6 1 K 31/436
 A 6 1 P 23/02
 A 6 1 P 37/06
 A 6 1 P 37/08
 A 6 1 P 17/00
 A 6 1 P 17/08
 A 6 1 P 17/06
 A 6 1 P 17/10
 A 6 1 P 17/04
 A 6 1 P 17/02
 A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】
 【提出日】 平成 19 年 3 月 20 日 (2007.3.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 0 0 3 0
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 0】

例えば、アトピー性皮膚炎もしくは接触性皮膚炎、痒み、またはそう痒症などの皮膚疾患の予防および処置にて、維持投与量の約 2－3 倍の初期投与量を投与するのが適当であり、続いて維持投与量の約 2－3 倍の日用量を 1～2 週間の期間投与し、そしてその後、前記用量を 1 週間に約 5 % の割合で漸減し、維持投与量にする。一般に、大型動物、例えばヒトにおけるアトピー性、接触性もしくは脂漏性皮膚炎、乾癬、座瘡、酒さ、ポストピ

ール、そう痒症、皮膚熱傷、または痒み、および関連する疼痛の予防および処置における使用のための経口投与にて、3,3-エピクロロ-3,3-デスオキシアスコマイシンの相乗的有効量は、3,3-エピクロロ-3,3-デスオキシアスコマイシンの量が約2 mg/kg/日以下、例えば、約0.01 mg/kg/日から約2 mg/kg/日、好ましくは約0.5 mg/kg/日と、上記のような相乗的効果率にて、局所的に有効量のポリドカノール、リドカインまたはプリロカインを組合せるかまたは共投与する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

実施例1：クリーム

【表1】

成分	量 (g)
3,3-エピクロロ-3,3-デスオキシアスコマイシン	1.00
塩酸リドカイン	2.00
中鎖トリグリセリド	15.00
オレイルアルコール	10.00
セチルステアリル硫酸ナトリウム	1.00
セチルアルコール	4.00
ステアリルアルコール	4.00
モノステアリン酸グリセリン	2.00
メチルパラベン**	0.20
プロピルパラベン***	0.10
プロピレングリコール	5.00
クエン酸	0.05
水酸化ナトリウム	*
水	100.0まで加える

* pH 5.5に調節するために必要な量

** p-ヒドロキシ安息香酸メチルエステル

*** p-ヒドロキシ安息香酸プロピルエステル